

# 先端技術と知識を携えた“狩猟採集生活”の時代へ



小林朋道 鳥取環境大学環境学部

・37歳、男性。

7年前までは東京の大手コンピューターメーカーで働いていて、25万円のスーツと15万円の革靴で都心の高層ビルのオフィスに通っていた。

・しかし、仕事や同僚・顧客などとの関係でストレスをためており、千葉県の自然栽培の農家の見学ツアーに参加したことがきっかけで、岡山県の蒜山高原で、無農薬農業をすることにした。

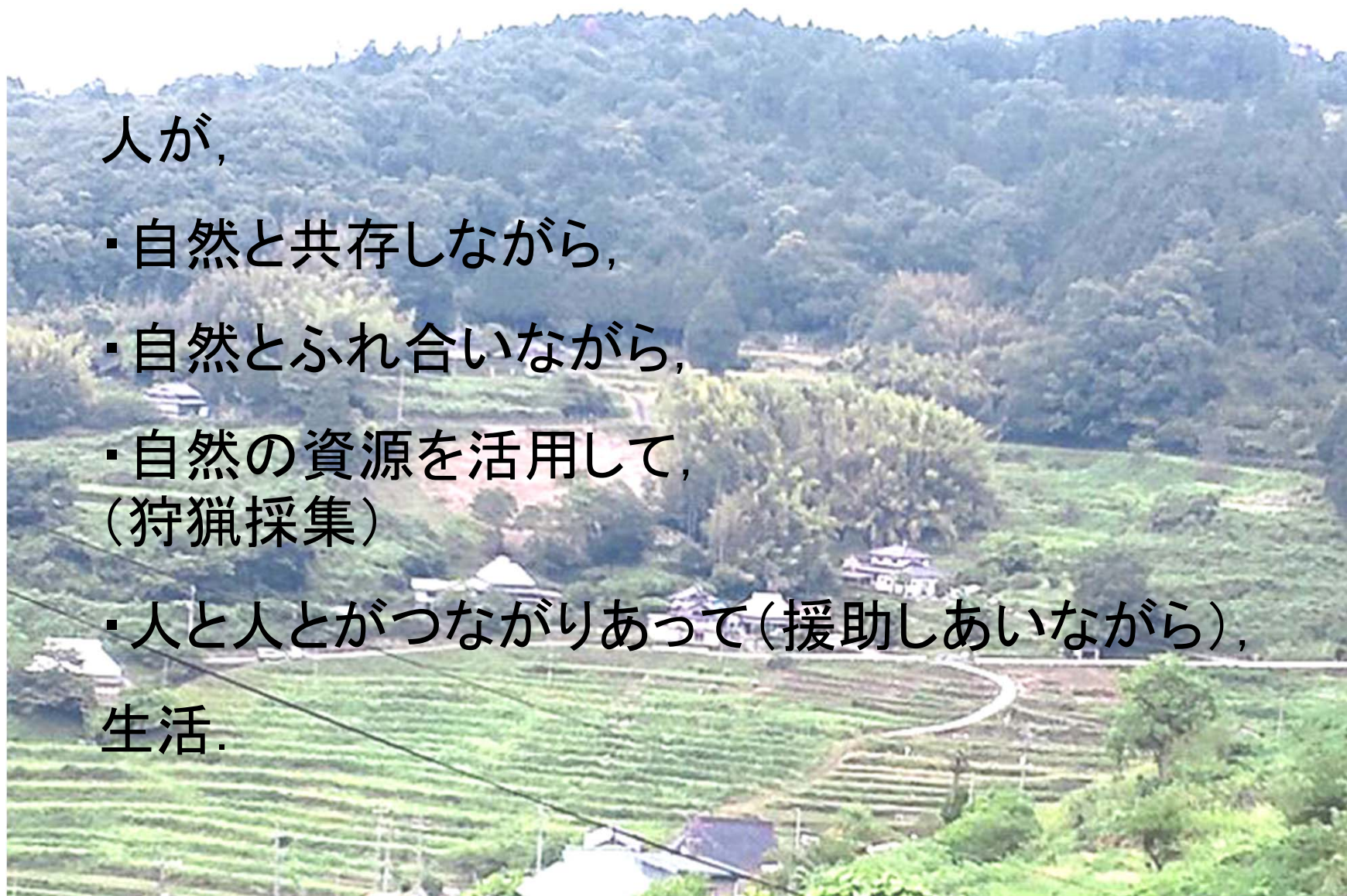
・インターネットなどで販売している。妻や子どもも喜んでおり、食事が毎日楽しみで仕方ない。

著作権の関係上、表示できません

## 潜在的な里山(里川, 里海)の力

人が,

- ・自然と共存しながら,
- ・自然とふれ合いながら,
- ・自然の資源を活用して,  
(狩猟採集)
- ・人と人がつながりあって(援助しあいながら),  
生活.



## 先端技術や情報, アイデア

人が,

- ・自然と共存しながら,
- ・自然とふれ合いながらして
- ・自然の資源を活用して
- ・人と人がつながりあって  
(援助しあいながら)

生活.

先端技術や情報, アイデアもたずさえ

- ・新しい目で里山の資源  
(衣・食・住・エネルギー・自然体験)  
を見つけ, 掘り起こし,
- ・資源を使い, 売買し  
(経済的にも自立し)
- ・ストレスの少ない, 心地よく働ける

生活

### 狩猟採集

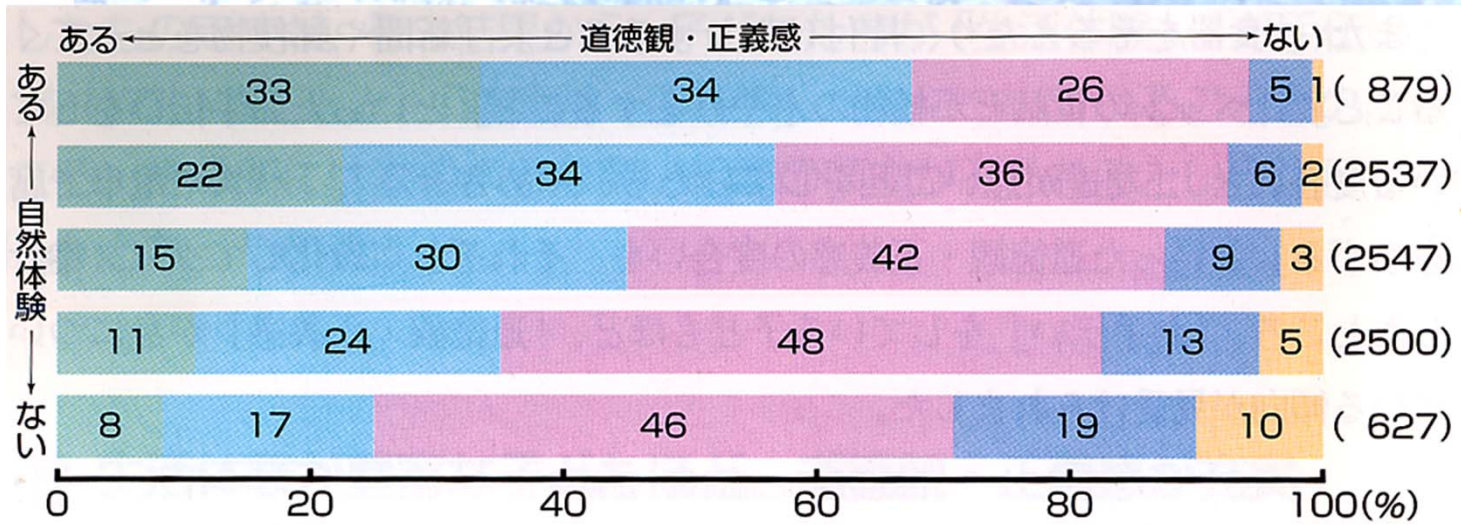
……という可能性が開けた

・7年前までは東京の大手コンピューターメーカーで働いていて、25万円のスーツと15万円の革靴で都心の高層ビルのオフィスに通っていた。

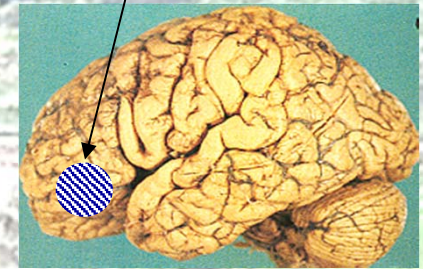
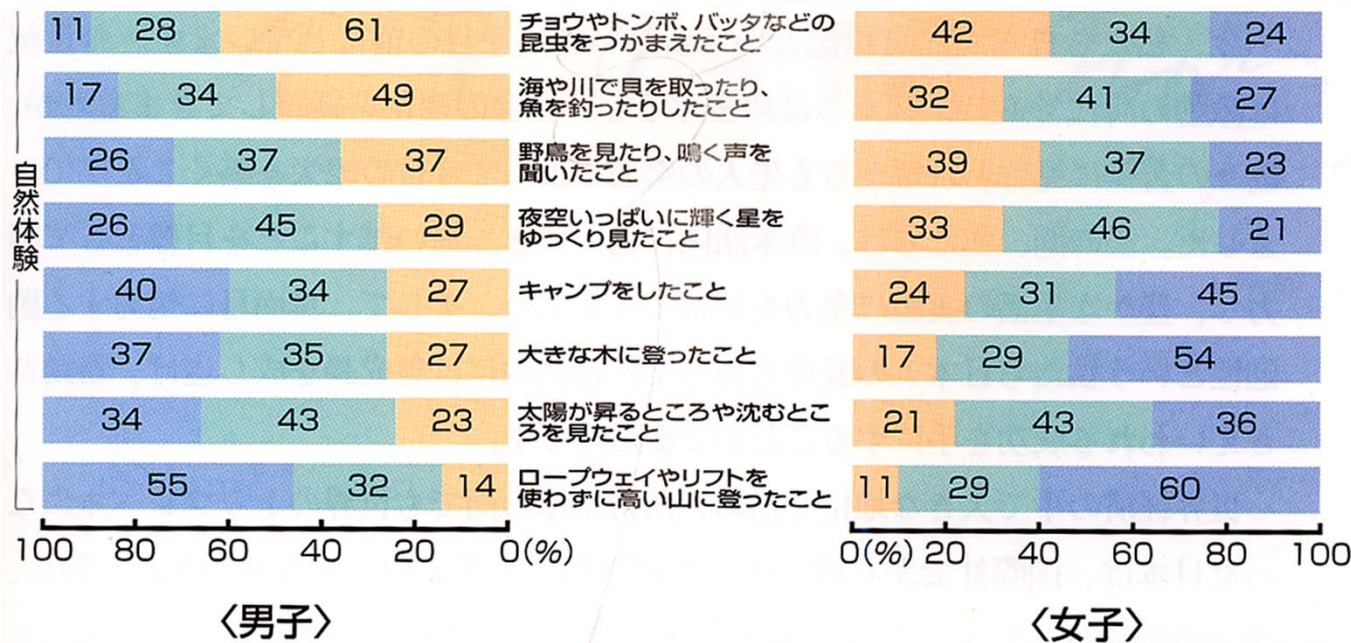
・しかし、仕事や同僚・顧客などとの関係でストレスをためており、千葉県の実験栽培の農家の見学ツアーに参加したことがきっかけで、岡山県の蒜山高原で、無農薬農業をすることにした。

・インターネットなどで販売している。妻や子どもも喜んでおり、食事が毎日楽しみで仕方ない。

我々の脳は、生物や自然にふれ、それらに働きかけて物を生み出す(その典型が狩猟採集)活動を前提にデザインされており、そういう体験が“心地よい”感覚を感じさせ、心身の健康な成長をうながす。



“生物”専用  
情報処理領域



(生涯学習審議会、1999)

## 『第三の波』 アルビン・トフラー 日本放送出版協会(1980)

### ■ 第一の波: 農耕

### ■ 第二の波: 産業革命(同一規格の製品を大量生産・大量消費)

### ■ 第三の波: 情報革命

- ・情報技術さえあれば仕事はどこでもできる.
- ・生産者と消費者が直接コミュニケーションをして売買をする(大量生産・大量消費の時代が終わり、個々人が自分の好みで、必要なものを必要なだけ、つくり、売買する).
- ・物を持つことに幸福感を感じるのではなく、“心地よい”体験をもつことに幸福感を感じ、それを自分でつくり、売買する(自然体験なども商品になる).

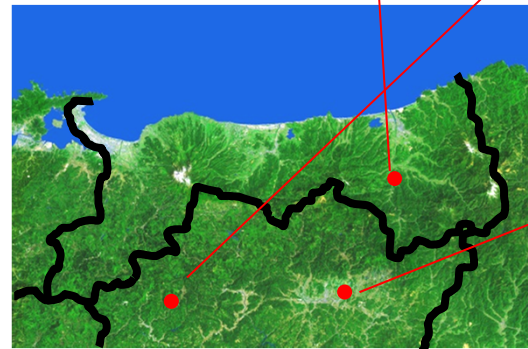
# 『里山資本主義—日本経済は「安心の原理」で動く』

藻谷浩介・NHK広島取材班  
角川書店(2013)

## 鳥取県八頭町 耕作放棄地で ホンモロコを養殖



## 岡山県真庭市 木質バイオマス発電



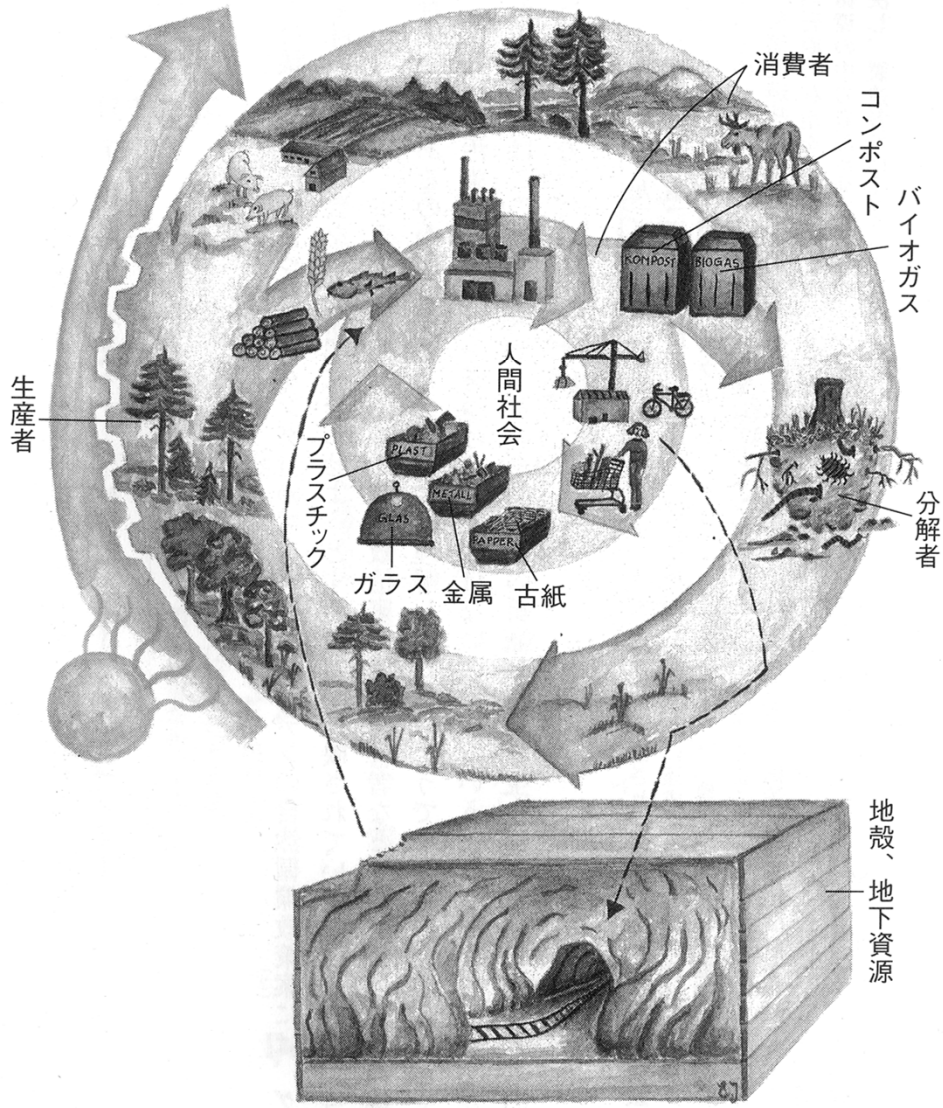
## 岡山県美作市 棚田再生プロジェクト



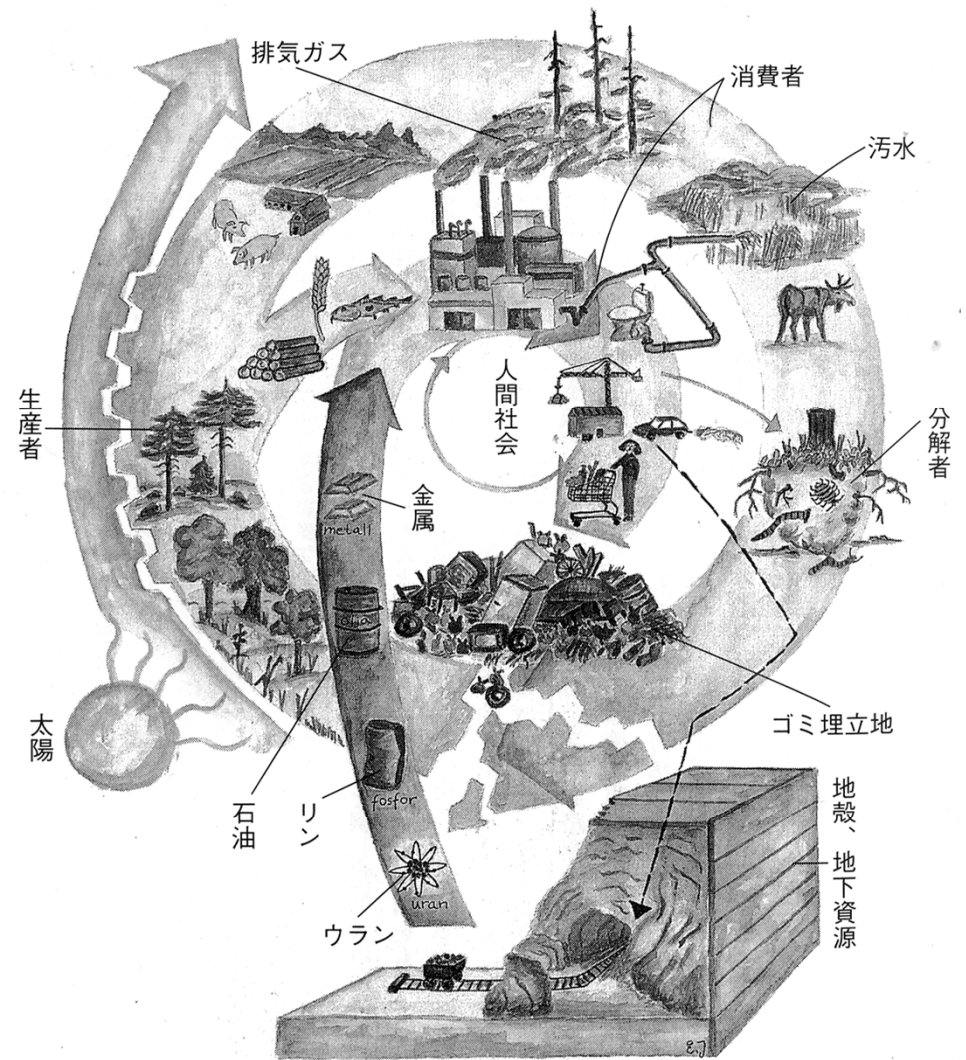
## インドネシアCalacap州 ココヤシの繊維の利用



# 自然循環に合致した持続可能な社会の状況

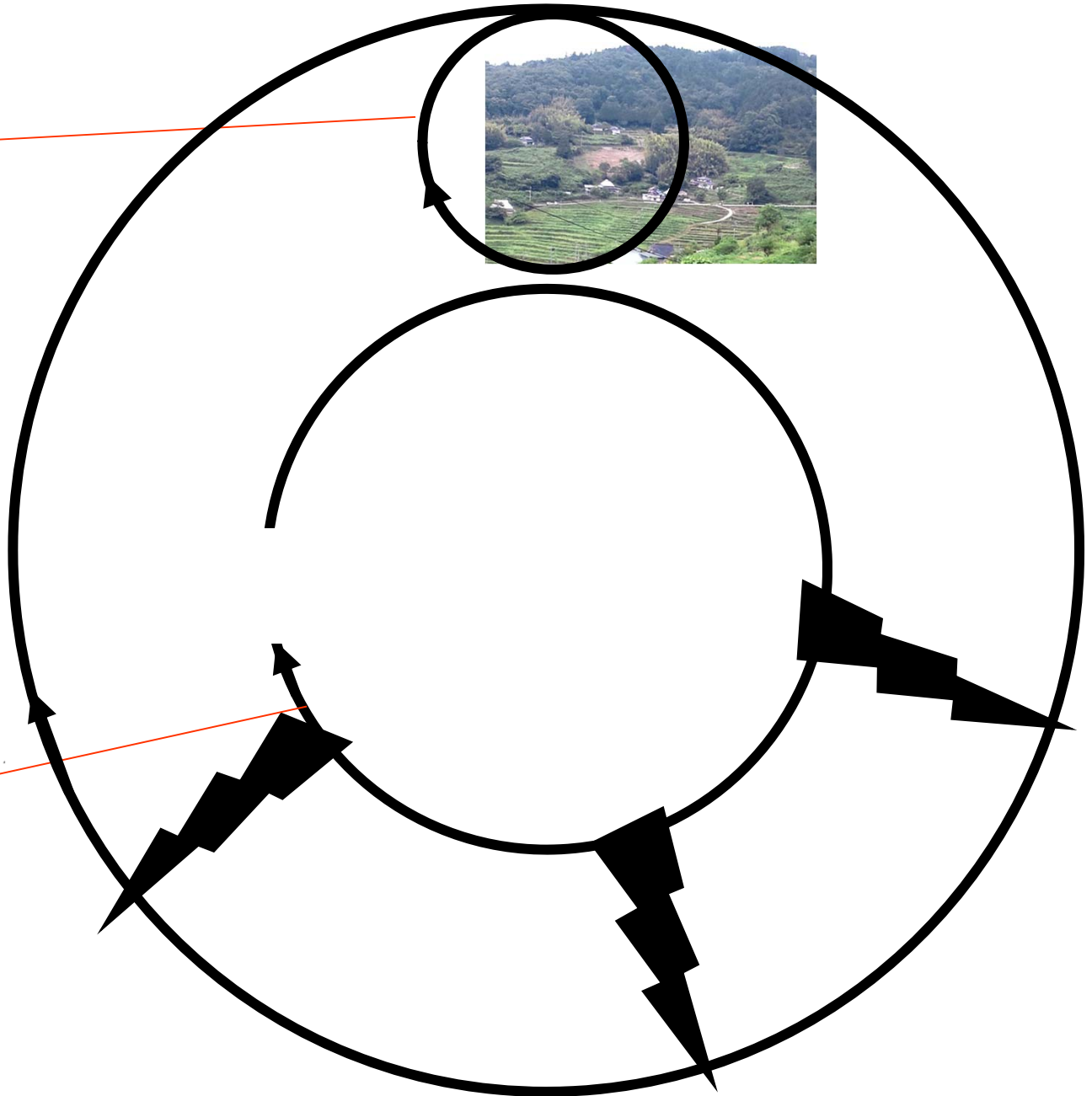
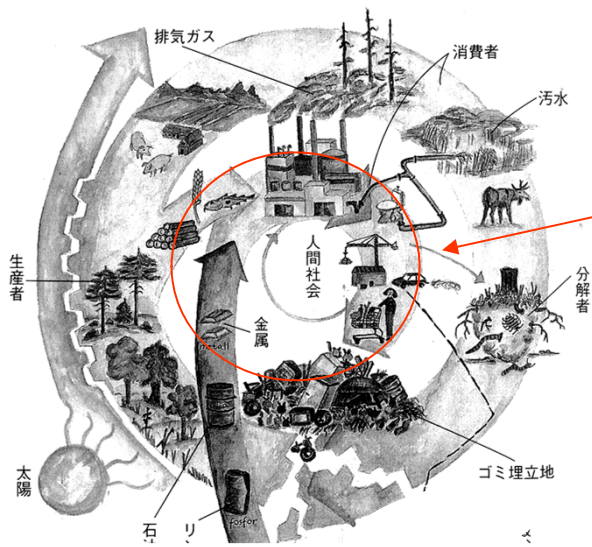
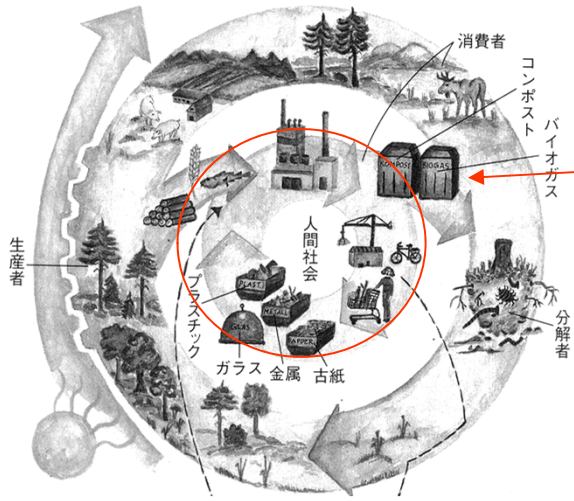


# 現在起こっている環境問題の状況



地球環境問題の本質をわかりやすく示した図(カール=ヘンリク・ロベール「ナチュラル・チャレンジ」1998より)





## 先端技術や情報, アイデア

人が,

- ・自然と共存しながら,
- ・自然とふれ合いながらして
- ・自然の資源を活用して
- ・人と人がつながりあって  
(援助しあいながら)

生活.

先端技術や情報, アイデアもたずさえ

- ・新しい目で里山の資源  
(衣・食・住・エネルギー・自然体験)  
を見つけ, 掘り起こし,
- ・資源を使い, 売買し  
(経済的にも自立し)
- ・ストレスの少ない, 心地よく働ける

生活

### 狩猟採集

……という可能性が開けた

・7年前までは東京の大手コンピューターメーカーで働いていて、25万円のスーツと15万円の革靴で都心の高層ビルのオフィスに通っていた。

・しかし、仕事や同僚・顧客などとの関係でストレスをためており、千葉県の実験栽培の農家の見学ツアーに参加したことがきっかけで、岡山県の蒜山高原で、無農薬農業をすることにした。

・インターネットなどで販売している。妻や子どもも喜んでおり、食事が毎日楽しみで仕方ない。



里山の変化:

先端的な技術・情報を使って持続可能で安全な資源(衣・食・住・エネルギー・自然体験)を利用する生活

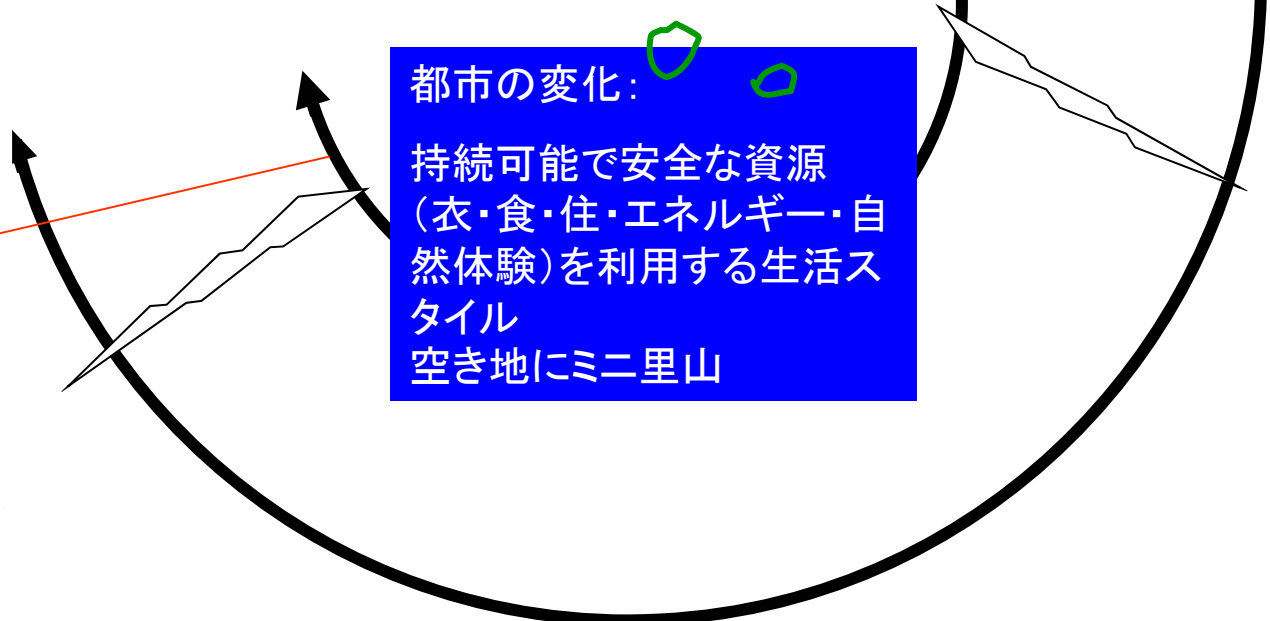
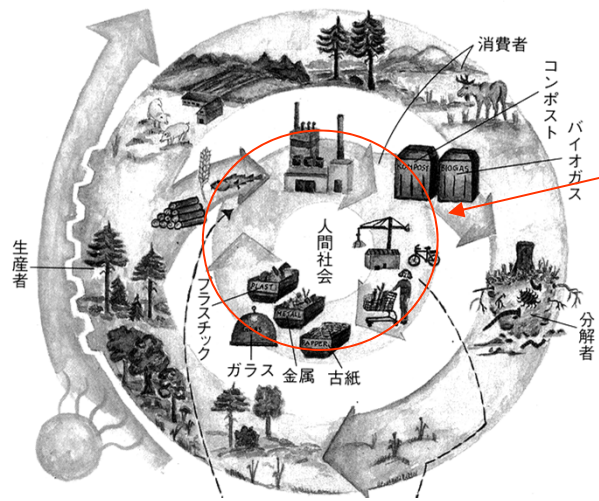
里山社会からの、持続可能で安全な資源(衣・食・住・エネルギー・自然体験)

都市社会からの、先端の情報・技術



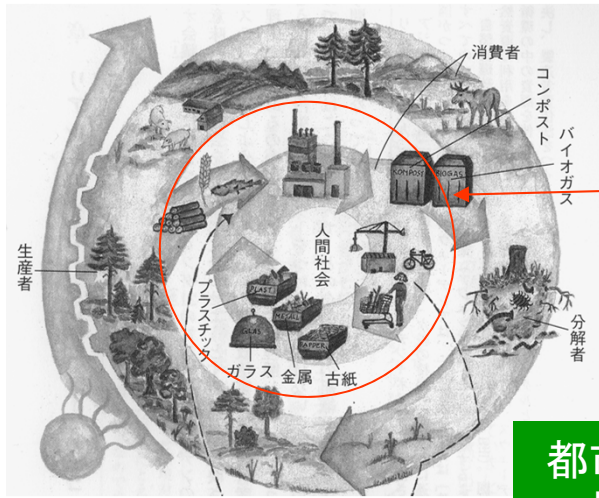
都市の変化:

持続可能で安全な資源(衣・食・住・エネルギー・自然体験)を利用する生活スタイル  
空き地にミニ里山



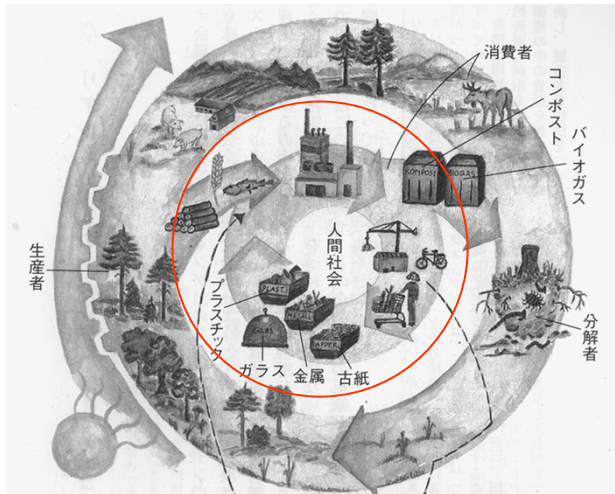
# 先端技術や知識を携えての“狩猟採集”の時代へ





都市社会からの、先端の情報・技術

里山社会からの、持続可能な、新しい資源(衣・食・住・エネルギー・健康源)



都市の変化：  
自然エネルギーの利用の増大，  
自然体験の増大， etc

里山の変化：  
里山への人の移住，  
一時的な里山体験，  
都市に里山が増殖， etc

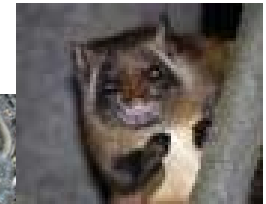




## 芦津モモンガプロジェクト@鳥取

モモンガをはじめとしたたくさんの貴重な野生生物が棲む芦津の森を 保全するためには、野生生物の生態の調査と同時に、保全の意欲を産み出す、地域の活性化が必要です。芦津モモンガプロジェクトは2つの柱を中心に活動を進めています。

- モモンガなどの野生生物の動物行動学的調査研究
- 地元の人とのモモンガ達の棲む森の観察会
- モモンガのグッズの考案・作成・販売
- モモンガの森のエコツアーの企画・実施





地域の人達への呼びかけ観察会・・・野生生物とのふれ合いによる動物への共感  
学生を交えた商品開発・・・野生生物の保護がもたらす経済的・精神的利益



# 芦津モモンガプロジェクト 販売用のグッズA~D

## A. 実用的モモンガ



巣から顔出しモモンガ1  
(¥2000) 注文番号  
(B01)



スギわっぱ小物入れ(¥3000)  
長径:14cm、短径:13cm 注文番号(A01)



ペーパー&ペンスタンド1(スギ)(¥2000)  
11.5×11.5×高さ11.5cm 注文番号(A02)



ペーパー&ペンスタンド2スギ(¥1000)  
10×8×高さ10cm 注文番号(A03)

ペンスタンド(スギ)  
直径12.5×高さ6.5cm  
(¥700) 注文番(A04)



木彫りモモンガ1(スギ)  
(¥2000) 注文番号(B04)  
体長(尾を含む)24cm



コースター2(スギ)  
直径12cm、厚さ1.5cm  
(¥250) 注文番号(A06)



モモンガ型コースター(スギ)  
長さ16cm、幅11cm、厚さ1cm  
(¥250) 注文番号(A07)



# 新しいモモンガグッズ(@芦津モモンガプロジェクト)の紹介！ 今回は「モモンガお風呂セット」

※芦津モモンガショップは、以下まで。

<http://dem.kankyo-u.ac.jp/momongashop.html>

「ももんがの湯」用のタオルです

ご要望があれば、本物の、  
モモンガの巣材にします



杉の廃材でつくった箱です

石けん粘土でつくったモモンガ石けんです

正面にモモンガの焼き印が入っ  
ています



**Subject:** モモンガグッズが届きました

**Date:** Sun, 6 May 2012 13:15:45 +0900

**To:** Ashizu Momonga <ashizmom@kankyo-u.ac.jp>

芦津モモンガプロジェクトのみなさま

こんにちは。  
日時どおりにモモンガグッズを受け取りました。  
お手配ありがとうございました。

予想以上です！！！！！！  
木彫りモモンガくんの生みの親Tiさんにはぜひぜひよろしくお伝えください。  
表情といい、尾を握ったかんじといい、この木肌が良い色に成長して  
いくのが楽しみです。公園へ散歩に連れ出してみます。  
ミニ地球も崩れることなく、きれいな緑を保っています。どうなっていくのか  
おもしろそうです。

プロジェクトの活動を応援しています。



# 鳥取県芦津モモンガの森と村で学ぶ「生態系の営み」と「生態系からの恵み」

2012.8.20~22





# モモンガの湯





## ヤギを活用した除草の実証実験開始

～国内の住宅団地では初～

UR都市機構（独立行政法人都市再生機構）は、国内の住宅団地では初めて「ヤギを活用した除草（以下ヤギ除草という）」の実証実験を開始することとしましたので、お知らせします。

### 1 目的

ヤギ除草は、緑地や管理地等に繁茂する雑草をヤギに食べさせて除草を行うもので、草刈機の使用や刈草の廃棄処分に伴うCO<sub>2</sub>排出量の削減ができることから、環境に優しいエコな除草手法として昨今注目を集めています。

UR都市機構は、ヤギ除草の効果（アニマルセラピー効果、コミュニティ活性化等）に注目し、この効果を検証すべく国内の住宅団地では初めて町田山崎団地において導入します。（





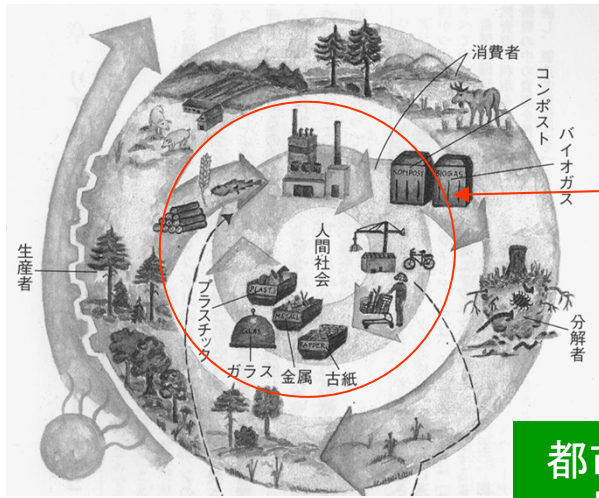
鳥取環境大学ヤギ部

2008.7.15 ~



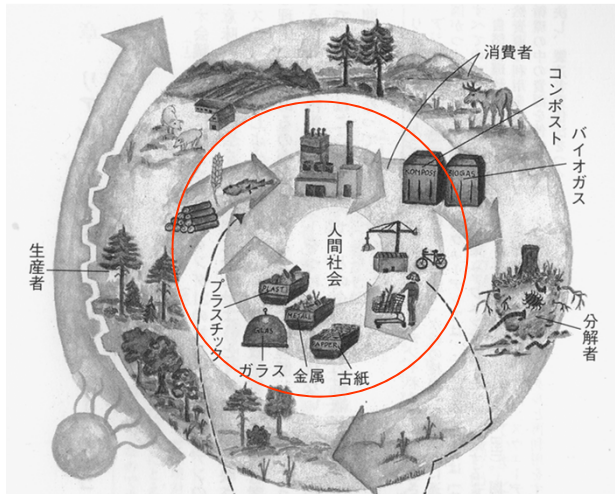






都市社会からの、先端の情報・技術

里山社会からの、持続可能な、新しい資源(衣・食・住・エネルギー・健康源)



都市の変化：  
自然エネルギーの利用の増大，  
自然体験の増大， etc

里山の変化：  
里山への人の移住，  
一時的な里山体験，  
都市に里山が増殖， etc



